



市議会

だより

Contents 令和6年2月発行

第4回定例会	P 2-3
委員会審査報告	P 4-5
一般質問	P 6-9
議会改革検討委員会	P 10
gikai 掲示板	P 11
こんな活動しました	P 12

議員と語ろう会〈12月16日〉



第4回定例会

一般会計補正予算 2億9,388万8千円追加

令和5年第4回定例会は、11/30～12/15までの16日間の会期で開かれました。17議案のうち、一般会計補正予算など3議案において討論があり、採決の結果、3議案とも賛成13反対1で可決。その他の案件は、全会一致で可決しました。

審議結果

予算 6件
条例 11件
その他 1件

補正予算

一般会計補正予算 2億9,388万8千円追加

主な補正内容	補正額
(仮称)こども未来館の開設に向けた市民ボランティア団体設立に係る委託費等追加	41万9千円
組織改編に伴うレイアウト変更、サイン改修等委託費の追加	662万7千円
低所得世帯1世帯あたり7万円を給付	1億7,351万8千円
平田中学校のバリアフリー化・城南中学校のトイレ洋式化に係る設計委託費等の追加	1,219万5千円
志津橋改修に伴う調査委託費の追加	221万3千円
障害福祉サービス費、障害児通所給付費の増額	6,411万9千円
私立認定こども園への施設型給付費負担金の増額	3,433万5千円
生活保護の医療扶助費の増額	2,845万7千円
過年度事業費確定による国県補助金等の返還	1,030万2千円
現員現給等に伴う人件費等の減額	△8,570万円

クレール平田運営特別会計補正予算
400万円追加
国民健康保険特別会計補正予算
260万2千円追加
介護保険特別会計補正予算
441万1千円追加
水道事業会計補正予算
2,690万1千円追加
下水道事業会計補正予算
1,802万8千円減額

条例

●組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例

重点施策「海津イレブン」の着実な推進を図るため、行政組織の改編を令和6年4月1日付で行うことに伴い、所要の改正を行うため、関係条例を改正又は廃止するもの。

なお、主な組織改編の内容として、

①「こども未来課」に子育て支援に関する業務を集約し、ワンストップ窓口

②観光振興課を「観光・シティプロモーション課」に
③「社会教育課」と「スポーツ課」を教育委員会から市長部局へ移管し、「文化・スポーツ課」に
④社会福祉課に「福祉総合支援室」を設置
⑤企画財政課を「企画課」「財政課」に再編するもの。

●教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

組織改編に伴い、教育委員会の事務のうち、市長が管理及び執行する事務を規定するため。

《質疑》 松岡唯史議員

社会教育施設としての基本的機能や政治的な中立性、中長期的な事業の継続性は市長部局へ移管後も担保されるのか。

《答弁》 総務部長

市長部局に移管しても、社会教育法等に基づく社会教育機関であり、これまでどおり各種協議会や審議会、総合教育会議での審議を経て適切に事務を行っていく。また、重要案件は、教育委員会の意見を聴取していく。

●職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正

●議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

●常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正

●手数料徴収条例の一部改正

●国民健康保険税条例の一部改正

出産する予定又は出産した被保険者に係る国民健康保険税の軽減措置を新たに規定するため。

●留守家庭児童教室条例の一部改正

●空家等対策協議会設置条例の一部改正

●火災予防条例の一部改正

●手数料徴収条例の一部改正(追加)

《討論》

●一般会計補正予算

●組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例

●教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

反対討論

松岡唯史議員

教育委員会から「社会教育課」と「スポーツ課」を市長部局へ移管し「文化・スポーツ課」とする組織改編に伴う補正予算・関連する議案について、

反対するもの。

そもそも、教育委員会の所管では「健康に暮らせるまちづくりの推進」や「観光誘客や地域活性化」を図ることができないのか疑問である。

一方、観光振興などの経済性や効率性が優先され、社会教育本来の役割が阻害され、社会教育行政の衰退が危惧される。

また、社会教育の政治的中立性の確保の面でも、例えば図書館における個別の図書や資料の選定において、市長の政治的立場などへの忖度をしないかなどの不安もある。

なお、文部科学省の中央教育審議会は、「公立社会教育施設の所管に関する特例は、社会教育の振興がこれまで以上に図られるようになることを期待して導入しようとするものであり」としているが、本市では観光振興やまちづくりといったことに主眼が置かれ、社会教育行政・施設の市長部局への移管が行われようとしている。

以上の理由から、本議案に対して反対するもの。



海津図書館



海津市OCT文化センター



賛否一覧表 (賛否の分かれた事件のみ掲載しています) ただし橋本議長は採決に加わりません。

議案名	議決結果	政和会・清流くらぶ		海津市議会公明党		幸福実現党		日本共産党		forかいづ		会派に属さない議員				
		水谷武博	服部寿	伊藤誠	里雄淳意	浅井まゆみ	伊藤久恵	松岡唯史	二ノ宮一貴	川瀬厚美	藤田敏彦	小粥努	北村富男	片野治樹	古川理沙	
12/15 議案第99号 令和5年度一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
12/15 議案第105号 組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
12/15 議案第106号 教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

総務産業建設委員会 2023年12月8日

主な審査内容

付託された議案は、庁舎管理業務や橋梁調査委託事業などの一般会計補正予算のうち本委員会に所管するものの他、特別会計補正予算3件、条例改正等9件。

審査の結果、全13案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきもの。

主な質問と回答

コミュニティバス運行事業

Q コミュニティバス運行事業補助金の増額理由は。

A 昨年より、従業員の社会保険への加入や、運転手の処遇改善が図られたことによる人件費の増加。また、デマンドバス車両の3台更新に伴う増額。

現在市内で運行しているバスの台数

○デマンド交通 5台

- ・9人乗車タイプ 4台
- ・4人乗車、車椅子対応タイプ 1台

○コミュニティバス 5台

- ・中型バス(座席29席、56人乗車) 1台
- ・小型バス(座席19席、33人乗車) 2台
- ・ジャンボタクシー(9人乗車) 2台



更新されたデマンドバス



デマンド
バス予約
システム



クレール平田施設運営管理事業

Q 仕入材料費の増額理由は。

A 直売所の売上増加に伴う、野菜・果物の仕入れの増額費用。



クレール平田直売所

道路ストック老朽化対策事業

Q 現在、通行止めになっている志津橋の今後の計画は。

A 増水時に河川の水面下に潜ってしまう橋(通称:潜り橋)であるため、今後、改修方法等について県と協議する。また、県では、津屋川の河川計画に基づき、架け替えが想定されることから、志津橋を維持しておく必要がある。



志津橋

まめ知識

潜り橋とは…河川に架けられている橋のうち、平常時は路面が水面より上にあるが、増水時には水中に沈んでしまう橋。

文教福祉委員会 2023年12月11日

主な審査内容

付託された議案は、平田中学校・城南中学校改修事業、障害福祉サービス事業、介護福祉事業などの一般会計補正予算のうち本委員会に所管するものの他、特別会計補正予算2件、条例改正1件。

審査の結果、全4案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきもの。

主な質問と回答

中学校管理事業

Q 平田中学校改修工事の詳細説明を。

A 特別支援学級の生徒数増加により、2学級編成となるため、エアコンのない教室を改修する。また、多目的トイレの改修やスロープなどを設置する。



改修イメージ

Q 城南中学校改修設計の詳細説明を。

A 現在、24基あるトイレのうち9基が洋式であり、今回の改修設計で全て洋式となる。また、市内の学校施設のトイレの洋式化率は、66.5%であるため、今回の改修工事で、全国平均(68.3%)を上回る事となる。今後も学校施設のトイレの洋式化に取り組んでいく。

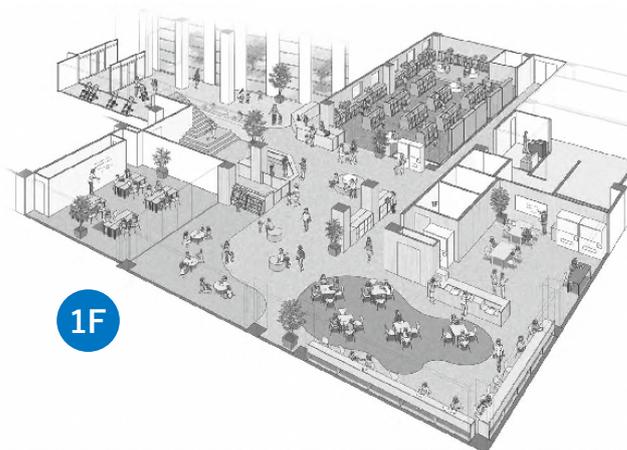


城南中学校改修予定のトイレ

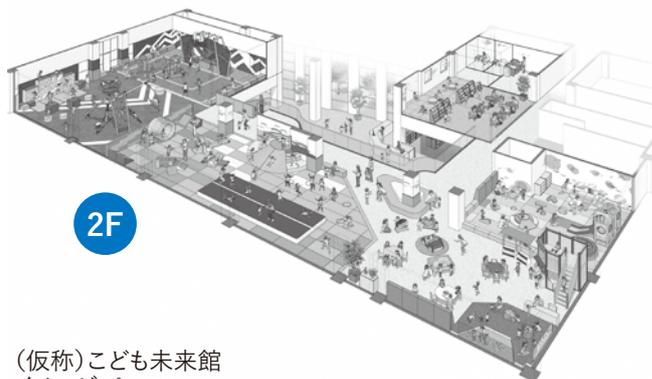
(仮称)こども未来館運営準備事業

Q (仮称)こども未来館運営準備事業の詳細説明を。

A (仮称)こども未来館で行うイベント等の企画や運営に関わる人材を発掘・育成するため、市民ワークショップ等を実施していく。また、愛称募集については、市報、ホームページ、SNS等で公募していく。



1F



2F

(仮称)こども未来館
イメージパース

11名が登壇

- | | |
|----------|----------|
| 川瀬厚美 議員 | 二ノ宮一貴 議員 |
| 伊藤久恵 議員 | 小粥 努 議員 |
| 里雄淳意 議員 | 北村富男 議員 |
| 松岡唯史 議員 | 藤田敏彦 議員 |
| 浅井まゆみ 議員 | |
| 古川理沙 議員 | |
| 片野治樹 議員 | |



生涯現役社会に向けた高齢者施策とは

伊藤久恵 議員
(幸福実現党)



少子高齢化の急速な進展に伴い労働力人口の減少が見込まれるため、高齢者も経済や社会の担い手として、経験や知識を生かし活躍することが求められている。

Q シニア層の生きがいづくりや、就労についてワンストップで相談できる窓口を開設しては。

A 無料職業紹介所の窓口へ生涯現役にかかわる相談に来られた場合、関係機関と連携して対応できるよう取り組んでいる。



Q 将来的に、「海津市生涯現役促進協議会」を設置し、就労や教育、福祉などの事業と連携を深めていくことは可能か。

A 関係機関との連携は可能。協議会の立ち上げも、今後の検討課題と認識している。

Q 本市の生涯現役社会の実現に向けた取り組みは。

A 高齢者が希望する活動内容と活動先のマッチング、情報提供機能を新たに設ける。また相談支援体制の構築に向けた取り組みを行うことで、多様な就業、社会参加を支援したい。



水晶の湯指定管理者は4社目、経営戦略は

川瀬厚美 議員



水晶の湯は平成14年12月開館。環境も良く4年後に来館者が100万人を超え、まずまずの滑り出しと思えたが、黒字には至らなかった。コミュニティバス海津津島線の運行を開始した。愛西市、津島市民へのPRが必要。今回の2,999万円の高額な指定管理料に市民は注目。

Q 4社目のケービックス(株)の経営ビジョンは。

A 「お客様の喜びを我が社の喜びとする」との経営理念に基づき、旅館等におけるアウトソーシ

ング事業を多数手がけている。水晶の湯においては、海津温泉宙舟の湯と連携したイベントを行うなど、相乗効果を生みながら、さらなる集客を図る。

Q 指定管理者について市民は知らない。「指定管理者運営状況検討委員会」を設置しては。

A 「公の施設の指定管理者選定委員会」で評価し、その結果を公表する。

Q 水晶の湯入浴券、食事券、市内観光をセットにしてふるさと納税の返礼品にしては。

A 指定管理者と協議が必要。





小学校における暴力行為は

里雄淳意 議員
(政和会・清流くらぶ)



『令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査』の結果が10月に文部科学省から公表された。小・中学校・高校で発生した「暴力行為」が令和4年度に過去最多の件数が報告されており、特に小学校での暴力行為が激増している現実は見逃げせない点である。根本要因を究明することがこの問題の先決問題であると考え。

Q 本市の暴力行為の現状は。

A 直近の5年間では減少傾向。

Q 暴力行為の要因の分析、関係機関との協議など対策に向けた取り組みは行われているか。

A ①暴力行為が起きた理由を検証。②それを踏まえ未然防止対策として学校では本人・学級・学年への指導。学校内・他校とも情報を共有する。③それでも暴力行為が懸念される場合はケース会議を開催。警察、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子どもの発達に関わる専門指導員などに出席を要請し対応について助言を得ている。



国保税の子どもにかかる均等割減免を

松岡唯史 議員
(日本共産党)



Q 今年度の本市における1人あたりの国保税額は。

A 11月時点で112,178円。

Q 西濃圏域での本市の状況は。

A 西濃圏域11市町で1人あたりの国保税額が一番高い。

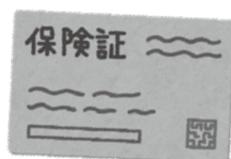
Q 県内の保険料水準統一化に向けた動きの進捗状況は。

A 県でも保険料水準の統一に向け、令和11年度に「国保事業費納付金」を統一する。これにより、本市の1人あたりの国保税額は低くなると見込む。

Q 子どもにかかる均等割減免を。

A 県で保険料水準の統一に向け取り組んでおり、本市独自での実施は考えていない。国の責任で対応すべきであり、全国市長会を通じて、制度の拡充を要望している。

県内の保険料水準の統一化は早くも6年後である。県内では下呂市、愛知県では大府市や稲沢市で「子どもにかかる均等割減免」を実施している。さらに、国保特別会計には約5億5千万円の基金がある一方、18歳まで減免するために必要な予算は約1,500万円であることを勧告すると、できない理由はないと考える。



不妊治療・不育症への支援は

浅井まゆみ 議員
(海津市議会公明党)



Q 不妊治療が保険適用になる前の市の助成制度は。

A 一般不妊治療は費用の2分の1、上限5万円までを助成。特定不妊治療は、県の助成事業の受給を条件として5万円から10万円を助成していた。

Q 新たな助成制度の考えは。

A 保険適用の有無に関わらず、市独自の助成制度を創設し、来年度予算に盛り込む。

Q 妊娠しても2回以上の流産を繰り返す不育症に対して助成制度創設の考えは。

A 来年度より、市独自の助成制度を創設する。

Q 情報提供やサポート体制の構築を。

A 県の不妊・不育症相談センターと協力し、相談体制を整えていく。

多文化共生社会の推進のため「やさしい日本語」の活用について

Q 市ホームページに「やさしい日本語」を取り入れ、ふりがな付きの文章や難しい日本語を自動変換できる機能導入の考えは。

A 来年度より、市ホームページに「やさしい日本語」へ変換する機能を導入する。





女性の健康支援、
妊活支援の充実を

古川理沙 議員



災害後の復旧復
興計画の事前周
知が必要では

片野治樹 議員



小中学校におけ
る不登校・いじめ
対策は

二ノ宮一貴 議員
(forかいづ)



**Q 市独自の不妊治療費助成、
妊活検査や社会的卵子凍結の
費用助成を検討しては。**

A 不妊治療費助成については
保険適用外の治療も対象とした
制度設計を進める。妊活検査、
社会的卵子凍結については調
査研究を進める。

**Q フェムテックによる女性の健
康サポートを進めては。**

A 先進市町の動向を注視しな
がら調査を進める。

**Q プレコンセプションケアについ
て、啓発や支援を始められないか。**

A 婚姻届
け時に啓発
資料や葉酸
サプリの配
付を検討し
ている。



引用：
成育医療センターHP

**新たに設置する
教育支援センターについて**

Q 事業内容は。

A ①不登校児童生徒の支援
②保護者との教育相談③教職
員の研修の3つの柱で進める。

Q 中学校卒業後も利用可能か。

A 利用可能である。

Q 多様な学びの保障の見解は。

A 誰もが充実感をもてるよう学
校の魅力をもとに、相談室や
フレンドリールーム等、安心して学
べる居場所を開設し、学びや成
長が止まらないよう取り組む。

Q 地震による被害想定は。

A 南海トラフ地震で最大震度
6弱、人的被害380人、避難者
3,893人、建物被害3,947棟。
養老-桑名-四日市断層帯地震
で最大震度7、人的被害2,077
人、避難者1万352人、建物被
害9,398棟の被害想定。

Q 災害ごみの発生量の想定は。

A 最大で56万8千tを想定。

Q 災害ごみ置き場の予定地は。

A 南濃南部グラウンド、中南部
浄化センター、本阿弥新田揚水
機場の隣地、平田公園、平田グ
ラウンドの5カ所を計画。

**Q 計画の5カ所の予定地では、
仮置き場としての面積が不足し
ているが、民間の土地を検討しては。**

A 調査を行い、使用可能か検
討しリスト化していきたい。

**Q 被災後、家屋の再建に災
証明書の発行が必要となる。発
行に必要な建物被害認定調査
が行える職員はいるのか。**

A 認定調査の研修を受けた職
員が8名いる。今後も県が主催す
る研修を受講、内部研修を実施し
対応できる職員を養成していく。



Q 不登校対策は。

A 各学校の相談室や市フレ
ンドリールームの設置、民間フリース
クール等と連携している。さらに、
外部専門家や関係機関を交えた
ケース会議を設け、児童生徒の
状況に応じて対応している。

Q いじめ対策は。

A 児童生徒の日常の観察、ア
ンケート調査や個別面談により
早期発見に努め、複数の教職員
で情報共有し早期対応に当たっ
ている。さらに、外部専門家等と
連携し、被害者・加害者への二
次被害の防止に努めている。

Q 海津小学校開校に向けては。

A 開校初年
度は優先的に
スクールカウ
ンセラーを配
置する。



南濃グラウンド・ゴルフ場

**Q 利用促進に向けての取り組
みは。**

A 水晶の湯と連携しキャン
ペーンやホームページでの動画
紹介等に取り組んでいく。大会
開催については、市及び県協会



等の競
技団体
と協議し
ていく。



年をとっても安心して住み続けられる福祉を

小粥 努 議員



高齢者世帯が増えている中、年をとっても住み慣れた土地や家で、安心して暮らせる福祉サービスの向上が必要と考える。

Q 今後の福祉課題への取り組みについての考えは。

A 5つの取り組みを柱に掲げ、地域福祉の増進に取り組んでいる。また、来年度には福祉総合支援室を設置し、分野を横断した複合課題への対応強化に取り組む。

Q 生活支援サービスが、行き届いていない地区への対応は。

A 生活支援コーディネーターが中心となり、地域の方の困りごとを把握し、さらなる生活支援体制づくりに努める。



市民活動支援センターについて

Q 市民活動支援センターの今後の進め方は。

A 令和7年度の開設に向けて、市民活動団体へのアンケート調査やヒアリング調査を進める。

Q 活動団体等を集めて、意見交換会なども行っては。

A 来年度は、ワークショップ等を開催し、多くの市民の意見を聴いて進める。



空き家対策として、相談窓口の充実を

北村富男 議員



Q 空家等対策特別措置法の改正等を踏まえ、今後の空き家対策は。

A 3つを柱に新たな取り組みを進めていく。

①「未然防止」

セミナーを開催する他、終活ノートを活用した啓発を行う。

②「利活用の促進」

空き家を有効活用する個人や事業者に対し、改修費用の一部を補助する制度を創設する。

③「解体の促進」

老朽化した空き家の解体費用を補助する制度を創設する。

Q 相談窓口を、民間事業者と連携する考えは。

A 民間事業者との連携は有効であると考えている。今後、先進事例も参考に調査・研究する。



公の施設の使用料減免基準について

Q 自主防災組織による防災訓練は、免除基準に該当すると考えるが。

A 今後、自主防災組織が実施する、防災・減災活動については、公の施設の使用料を免除する。



ドローンによるみかん園での農薬散布の支援は

藤田敏彦 議員



Q 急傾斜地でのみかん園の農薬散布、南濃みかん等は年に8回消毒散布を行い猛暑の中の作業は大変辛いものがある。ドローンの活用には支援を。

A 南濃地区で栽培されているみかんは、岐阜県で唯一の生産地であり、「南濃みかん」として知られている。農業を取り巻く環境は厳しく高齢化に伴う担い手不足の大きな要因の一つになる。そうした対策として、今年度からスマート農業等推進対策事業において、ドローン購入費用を補助対象としている。

Q スマート農業等推進対策事業ではドローンの購入費に対する補助を行っているが、農家ではドローンパイロットの資格取得等は難しいと考える。農薬散布に対する助成の考えは。

A ドローンの機体購入には高額な費用がかかる他、資格が必要となる。みかん農家がドローンによる農薬散布を委託する費用に対して助成する制度を創設する。



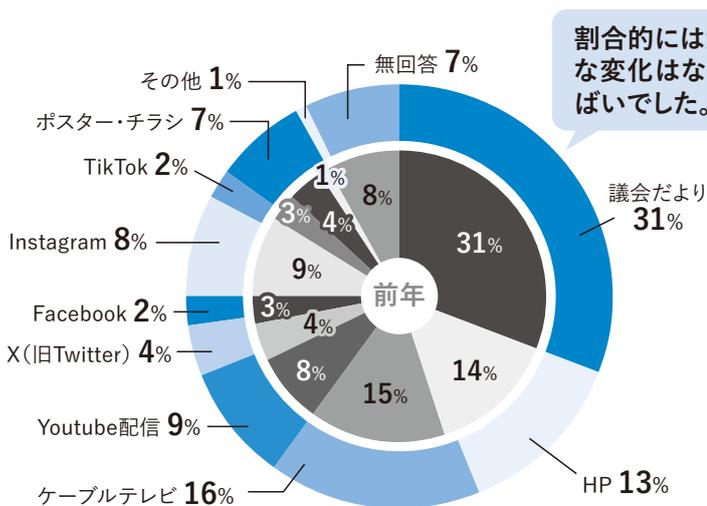
2023海津市
産業感謝祭

海津市議会ブースを出しました♪

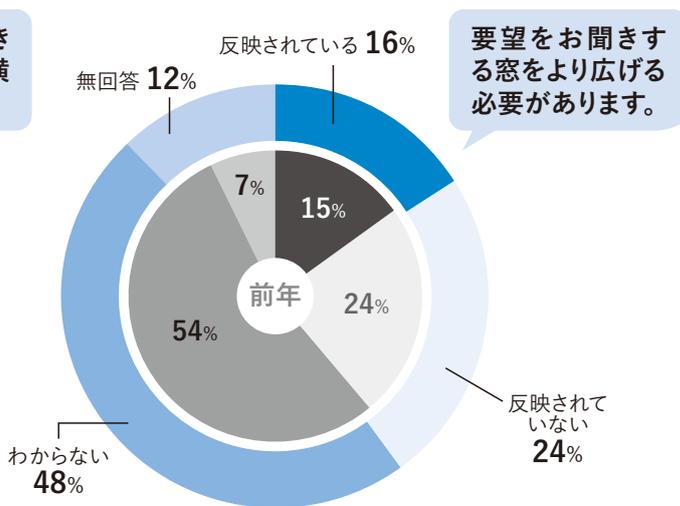
去る10月28日、29日に開催されました「2023海津市産業感謝祭」において、対話やアンケートを通じて、広く皆さまの声をお聞きすることができました。2日間で518名の方にアンケートにご協力いただき、大変感謝しております。紙面の都合上、一部抜粋して掲載致します。なお、海津市議会のホームページで全て公表させていただきます。



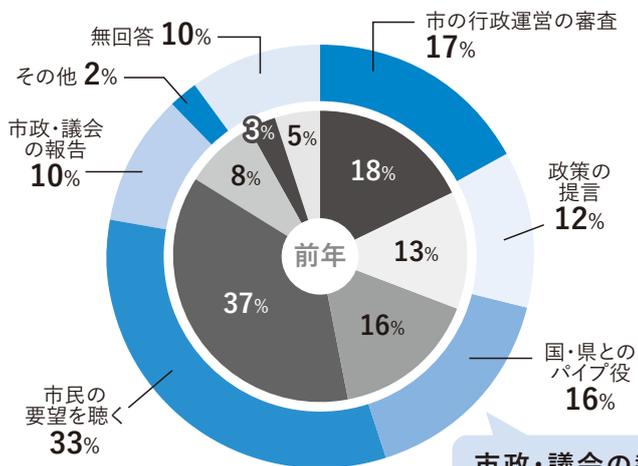
※下のグラフのうち、外側(青色)今年の結果、内側(白黒)前年の結果



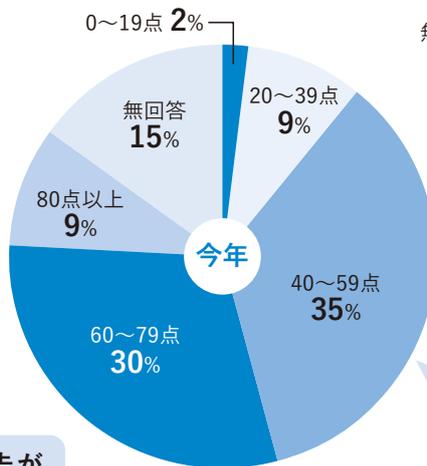
《情報発信で取り組んで欲しいもの》



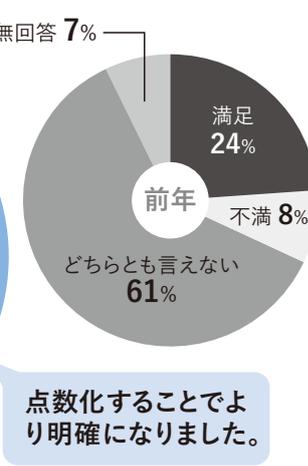
《要望は市議会に反映されているか》



《市議会に期待すること》



《市議会や議員の活動の満足度》



点数化することでより明確になりました。

自由筆記 (一部抜粋)

- ・議会の見える化が進むと関心が持ちやすい。
- ・手軽に市民の声を発信できるツール。
- ・もっと私たちの意見を聞いて欲しい。
- ・自治会総会でも報告を期待する。
- ・市民の声を届けやすい窓口を作って欲しい。

海津市
市議会HP
アンケート
結果



今後、いただいたご意見を精査し、皆さまの負託に応えられるよう取り組んで参ります。

また、12月16日に開催された「議員と語ろう会」については、次回、特集させていただきます。



gikai 掲示板

その1 お知らせ

第1回定例会(予定)

会期日程 2月27日~3月22日

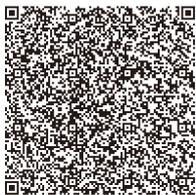
一般質問 3月18日、3月19日



詳細については、市議会ホームページをご覧ください。

その2 「出張!議員と語ろう会」募集

海津市議会では、皆さまとの対話を大切にアウトリーチ型の意見交換会「出張!議員と語ろう会」をお受けしています。グループ等での集まりのご要望を受け、議員数名がご指定の場所に伺います。お気軽にお申込みください。



応募フォーム

議会事務局
メール gikai@city.kaizu.lg.jp
電話 53-1110

NEW

その3 新コーナー「かいづキラリ」

かいづキラリ



かいづキラリとは…

市議会だよりのリニューアルに伴い、情報提供や情報発信だけでなく、「皆さまにとってもっと身近な議会となるためのツール」として活用していきたいとの願いから、皆さまから提供していただいた情報を基に取材をし、その内容も掲載していくこととしました。そのコーナーこそが、「かいづキラリ」です。

みんなに紹介したい頑張っている人、知人ぞ知る名所、隠れた名産品など…なんでも情報を提供していただければ取材に参ります。「海津のキラリと輝く人・場所・物」が政策につながることもあるかもしれません。また、今後は身近な方が市議会だよりに登場することも…ぜひ、ふるってご応募ください。



編集後記

リニューアルした紙面はいかがでしたか。気軽に手に取っていただけるようレイアウトを工夫し、掲載する内容も難しすぎず一目で議会の内容や議会活動が伝わる紙面のデザインとしました。

これまでの議会だよりに比べると「詳しさ」の点で物足りなさを感じられる方もおられるかもしれませんが、幅広い世代の方に読んで頂けるよう、また、皆さ

んが知りたいであろう情報をわかりやすく掲載することとしました。

また、一番の変更点は「かいづキラリ」を通じて、皆さんと双方向となるようにしたことです。議会だよりを情報提供としてだけでなく、議会活動そのものとして取り組んで参りますのでご期待ください。

(古川理沙)

広報編集委員会

委員長 松岡唯史

副委員長 古川理沙

委員 伊藤久恵
小粥 努
北村富男
片野治樹
橋本武夫

こんな活動しました



羽島市議会合同研修

研修 11月17日

羽島市役所において、「議員が有する発言権」をテーマに講義を受講しました。次回は、本市で開催します。



城南中・平田中で特別授業

交流 12月14日、12月20日

「出張!議員と語ろう会」として議員が特別授業を行いました。「人口減少対策」をテーマにした議員の政策提案を聞いて、どの政策を優先するべきかを話し合い、地方自治の大切さを学んでもらいました。



海津小学校視察

視察 12月15日

令和6年4月に開校する海津小学校の増設・改修工事を視察しました。

11月9日 周南市議会
山口県 会派「周南市民の会」

11月17日 五條市議会
奈良県 「厚生建設常任委員会」

行政視察受け入れ

募集

かいづキラリ



海津市議会では…頑張っているヒト、自慢できるバショなどの情報を募集しています。

広報編集委員会が取材させていただき、市議会だよりに掲載させていただきます。下記お問い合わせ先まで、ぜひ情報をお寄せください。

詳しくはP11まで